

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

| | |
|------------|---|
| 福祉サービスの種別 | 保育 |
| 事業所名 | 大津市立 朝日が丘保育園 |
| 代表者氏名（管理者） | 園長 中川 恵理子 |
| 法人名 | 大津市 |
| 定員（利用人数） | 140名 |
| 施設・事業所所在地 | 滋賀県大津市朝日が丘一丁目23-33 |
| T E L | 077-525-1470 |
| F A X | 077-525-1470 |
| 電子メール | otsu1420@city.otsu.lg.jp |
| ホームページアドレス | https://www.city.otsu.lg.jp/kosodate/yoho/hoiku/annai/asahi/1478062892202.html |

2 第三者評価機関

| | |
|----------|---------------------|
| 第三者評価機関名 | 公益社団法人 滋賀県社会福祉士会 |
| 評価実施期間 | 令和4年12月1日・12月2日 |

3 評価の概要

○ 総合評価

大津市立朝日が丘保育園は、昭和49年4月に定員60名で開園した保育園です。園舎は大津市の中心部であるJR大津駅に近く、交通の便が良いため、上田上から唐崎まで広域からの遠距離通園児が多く在籍しています。近隣には滋賀県庁等の官庁や住宅地、マンション等が混在しており、人口増や待機児童解消に対応するため増改築を繰り返し、現在定員は140名となっています。施設環境としては、お散歩コースである音羽山・長等公園・琵琶湖なぎさ公園・茶臼山など自然に恵まれた場所にあります。

「子どもたちのしあわせな生活、主体的な育みをめざして」を保育目標とし、令和4年度の保育テーマとして『心も体ものびやかに ～いいねがいっぱい それいいね！ みんなの思いがつながって～』を掲げ、一人ひとりの子どもの個性を大事にしつつ、保護者、職員、地域住民など、地域全体で一緒に保育に取り組む喜びを大切にしています。また、一人ひとりの子どもの思いを尊重して、自分で決めて行動できる主体的な子どもを育む保育を実践しています。

朝日が丘保育園では、非常勤を含む42名の職員が協力し合い、保育園の大切な役割である地域の子育て家庭の支援に取り組んでいます。毎日園庭開放を行い、平成18年からは、「子育てステーション事業」を開始して、地域の乳幼児の親子に向けた子育ての楽しさを感じ取れる居場所づくりや子育て情報の発信をしています。

○ 特に評価の高い点

①地域で選ばれ続けるための、安心・安全な園運営

保健担当の看護師が在籍しており、医療的なケアの必要な園児を受け入れできる体制づくりは、市立保育園ならではの思われます。主治医指示書をもとにケアに当たりますが、必要時は病院まで園長・保健担当看護師等が行き、保護者・園児と一緒に主治医の話を聞くという、保護者にとって心強く安心できる取り組みを行っています。また、自然災害や不審者侵入という不測の事態に対応するため、月に一度、防災訓練や不審者が侵入した場合の訓練を実施しており、保護者にとっては安心感のある運営が行われています。

②子供の未来を見据えた多彩な保育支援

「いいねがいっぱい それいいね！」という保育テーマの通り、年齢や性別にとられない多彩な保育が展開されています。街中にありながらも園庭で落ち葉や苔など自然に触れ合うことが出来ます。園庭に山土でお山を作るときに近隣業者が土を搬入してくれたり、子どもたちの散歩時には住民の方々から温かい声掛けをいただく等、地域密着の園運営ができています。園や保護者だけではなく、民生委員・児童委員や

老人会、婦人会など、地域の幅広い方々にも園運営に参画してもらうことで、子どもたちは安心して地域で育つことが出来ています。

③職員を大切に作る園運営

園は職員の年間研修計画を策定し、職員が園内研究や外部研修を積極的に受講できるよう整えています。研修により自らの保育を振り返り新たな知識を得ることで、保育の質の向上につなげています。職員からスキルアップのため興味のある研修希望を伝えると、業務として受講できることから、向上心を持って働ける職場環境となっています。市として「ノー残業デー」を設けており、現実にはなかなか定時に上がることは厳しいものの取り組みは評価できます。また、同期だけでなく先輩にも相談しやすい雰囲気があり、悩み事を言えば一緒に考えてくれる職場となっています。職員42名が人間関係を円滑に保ちながら日々の保育に取り組む様子を見るにつけ、職員個々の努力のみならず、園長や代表保育士などの人間性や日々の努力が感じられます。

④「食育」への取り組み

今年度の食育テーマである「みんなで作ろう おいしく食べよう ～五感を通して楽しもう！～」を実現するために、園庭の畑やプランターで、いろいろな野菜を栽培し、それを収穫してクッキングしたり給食に使ってみんなと一緒に食べることで、食の喜びを感じながら心豊かな育ちにつなげています。

また、正面玄関の傍には食事のサンプルケースを設置して、毎日の献立を展示し、メニューについて親子で話し合うきっかけをつくっています。

○ 改善を求められる点

① 保護者への情報提供について（危機管理面も含む）

園は毎日の送迎時の保護者との会話や連絡帳・ノート・掲示板・電話・メールなど様々な方法を用いて保育情報を伝えています。また、保護者との個別面談を適宜行い、意向や相談を聞き取っています。

今回の第三者評価での利用者アンケートからは、職員と保護者との挨拶や情報交換が不足しているとのコメントが一定数確認できました。園は様々な手段を用いて保護者への情報提供に努めているが、更なる保護者とのコミュニケーションの機会を作れるよう、検討・対応を望みます。また、災害発生時や防犯面での不安を訴えるコメントも複数見られ、この点も地域との連携を図り、保護者も安心して子どもを預けることができ保育園として、更なる改善に向けての取り組みを期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価をうける機会をいただき、評価基準と評価について説明を一項目ごとに丁寧に行い、保育園が大切にしてきた運営面のこと、保育内容のことを改めて確認して振り返ることができたことはよかったです。自分たちが気づいていなかったことや違う視点からの意見をいただくことができ、次からの保育に活かしていきたいと思います。

保護者アンケート結果については、「コロナ禍でも工夫して体験している」「どの職員も子どもに声をかけ関わっている」「職員間の情報交流ができています」など園を評価していただいている部分も多く、自分たちが努力してきたことや大切にしてきたことが伝わっていることがわかり、嬉しく思いました。一方で、職員の挨拶や言葉遣いについて、ご意見をいただいたことを園全体で真摯に受け止め、安心してお子さんを預けていただけると共に、保護者の方にも心地よい園となるよう改善に努めてまいります。

また、保護者の方からのご意見やご要望に対して、十分に説明責任が果たせていなかったため、今後保護者に対して公表や対応を検討していきます。

災害発生時の対応については、毎月いろいろな想定での訓練にとどまらず、様々な災害に対する具体的な取り組みや対応についての情報提供を積極的に行っていきたく思います。また、災害だけでなく、園内の安全対策についても十分に検討して取り組み、安全な園運営に取り組んでいきます。

地域、自治会との訓練や、園が避難場所になった際の運営について市と協議をするとともに、地域の関連機関とも連携をしていければと思います。

一人一人の子どもと保護者に安心して子どもを預けてもらえるように職員がチームとなって取り組んでいきたいと思います。